

# 介護困りごと相談 どげしたら、いいかね？



認知症の介護の困りごとや疑問について、介護経験者の方や専門家からのアドバイスを紹介します。



免許証を返しましたが、そのことを忘れて車を運転しようと鍵を探します。どうしたらよいでしょうか？



## 介護経験者Aさん

私の父も家族の車に乗り込んで運転をしようとして困りました。「どこに行きたいの？」と聞いてから、車に乗せて本人の用事をすませるようにしてみました。それからは外出する時には、家族に頼むようになって安心をしました。

## 介護経験者Bさん

車は処分しましたが、「どこにあるか」と聞いて困りました。「事故を起こすと大変だけん…」「お父さんは無事故無違反で表彰してもらったからね」と話して、タクシーやバスを利用しました。そのうち車の運転のことは言わなくなりました。

## ケアマネジャーからのアドバイス

運転を止めることは辛いことだと思います。

ご本人の気持ちを考えて関わりましょう。

1. 「これまで運転して家族を支えてもらいありがとう」と感謝を伝える。
2. 自分で運転しなくても、行きたい時に出かけられるような環境を作ると落ち着いてこられるようです。



やすらぎの家居宅介護支援事業所 TEL 23-9555  
介護支援専門員：野淵(のぶち) 紀美子

## 編集後記

近くの神社で例祭があり、やすらぎの家にも子供みこしや獅子舞、神事華がやって来て、懐かしい子供の頃の秋祭りの話をされていました。祭りは、何歳になっても心が躍るものです。

万九千さんの祭りが終わると冬本番ですね。風邪をひかないように気をつけましょう。



# やすらぎの家だより 第39号

社会福祉法人やすらぎ福祉会・やすらぎの家デイサービス・やすらぎの家居宅介護支援  
発行所 出雲市大津町西谷 2604-8 平成29年 11月 15日発行  
TEL(0853)23-9555 ホームページ <http://izumo-yasuragi.org> 発行責任者 日野 和子



## 中秋の名月に収穫祭！



さつまい入りの団子は黄色い満月のようにでした

「昔、ススキを飾って団子作ったの覚えとるよ」  
中秋の名月の準備はススキを取りに行く所から始まりました。次はだんごです。「だんごはご馳走だったがあ〜。作ってもらって喜んでたわねえ」と懐かしそうに思い出されます。「どうせお供えするなら、大きいのがいいわね！」とみなさん力を合わせて生地をこねて、たくさん出来上がりました。仕上げはお供え。祭壇にはやすらぎの畑で採れたさつまい、みんなで作った合わせ柿と干し柿を次々と山盛りに飾って…  
「なんと今年は豊作でよかった、よかった！」五穀豊穰に感謝した後で、みんなでおいしく頂きました。

## デイサービス ほっとコーナー



長寿お楽しみ会では、美容組合乙女座さんによる華やかな演芸に大拍手！



おめでとうございます！  
記念の写真です！



まあ！べっぴんさんに  
写してもらってえ～！



## 笑顔の秋！行楽の秋！



花の郷へピクニック！きれいな花  
がいっぱいの園内で最高！



一畑薬師 ようかさん参り



## 懐かしの昭和物語

何気ない会話の中で見つけた、心に残る  
「昭和の暮らし」を紹介していきます。

### はで干しと案山子

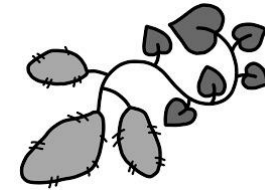


「あらあー、あそこ！はで干しにしちよらいわ～！」  
「まあ！かわいげな案山子もおるよ～！」 今では珍しくなった  
稲刈り後の風景に、子供の頃が思い出されます。  
「昔は小さい子もみんな、田んぼの手伝いは当たり前だわね。」  
「高いはでばに上がって遊んだもんだわ。」  
「夏休みに“より縄”を作るのが宿題でね～。稲刈りの時に何十  
本何百本と使うだけね。子供の仕事だったわ。」  
「案山子の形をわらで作ってね。ボロの服着せて、麦わらをかぶ  
せとったよ。」「懐かしいねえ～。」

## みのりの秋！



まあ！大きな西条柿  
だわ～。これは食べ  
がいがあわ～！



6月に植えたさつまいも。今年はサイズのそろった  
形のいい芋がとれました。きれいな紅芋がのぞくた  
び「ここ！」「ほら、ここ！」とみなさん夢中です。

## 食欲の秋！



みんなで昼食作りの日。この日は、巻き寿司を作  
りました。畑で採れた芋で煮しめを作る人やデザ  
ートを担当する人…みんなでひと仕事して食べ  
る食事は、一層おいしく感じられます。

## 介護こぼれ話

### 認知症の人の行方不明

『うちも義父が認知症だったから、よくわかるわ。見かけたら声を掛けるわね。お互いさ  
まだから…』って言ってくれた人がいて、嬉しくて涙が出たわ。」  
これは自治会で母親の病気を公表された介護者の言葉です。行方不明になって捜索する  
ことが続き、見かけたら連絡してもらいたいとお願いされたのです。それからは毎日電話  
連絡が入るようになりました。「迷ったけど、病気の事話してよかったわー。こうして助け  
てもらって…、ありがたい事だわ。」と、語っておられました。  
認知症が原因での行方不明の届け出が年間で1万5千人にのぼると報道されていまし  
た。GPS携帯など、行方不明の方を探す器械は格段に進歩していますが、一番の安心は  
「どうされましたか？」と声を掛けあえる地域の繋がりとだと思います。